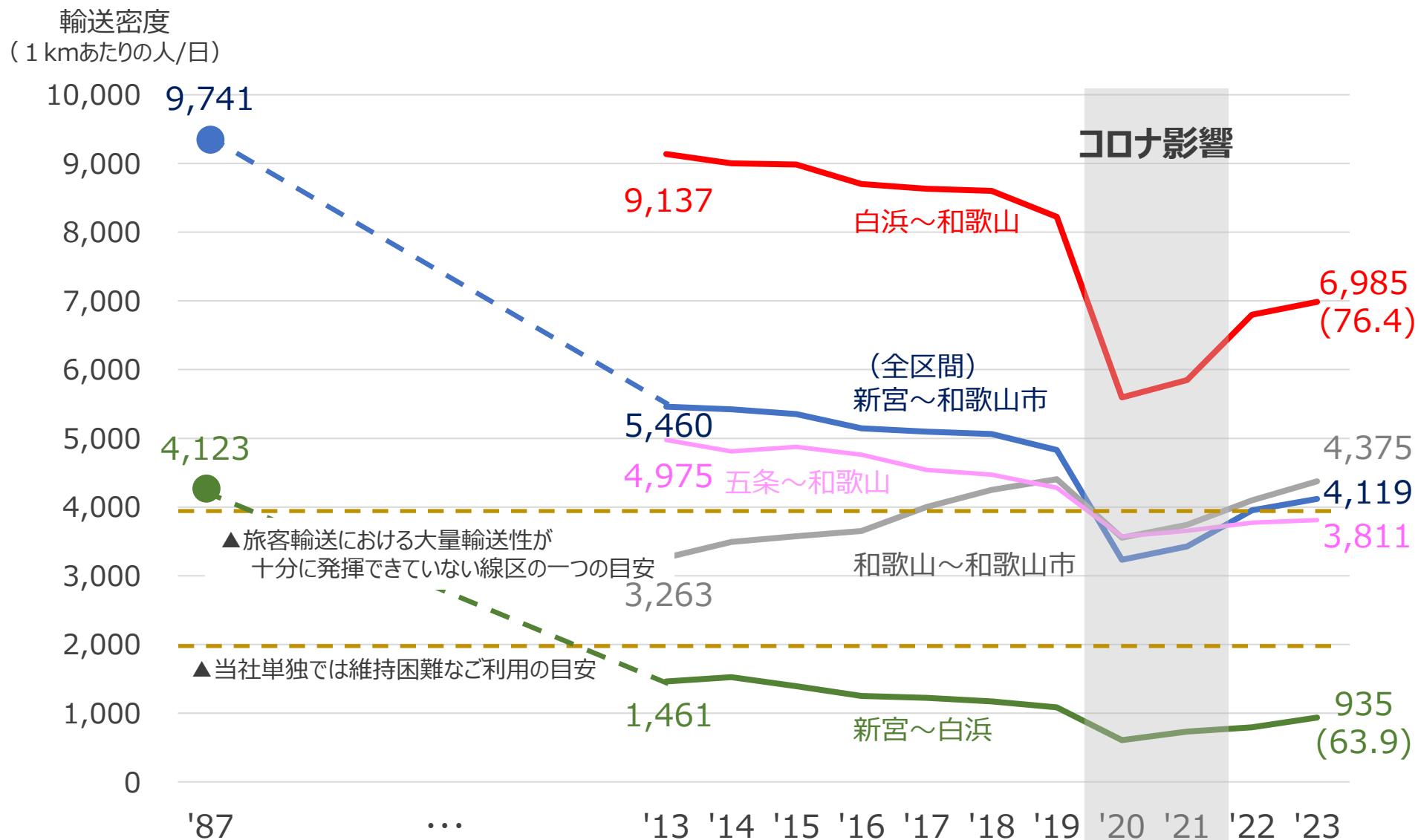


紀勢本線活性化促進協議会
新宮白浜区間部会 第13回

説明資料

2025年6月3日
JR西日本 近畿統括本部 和歌山支社

和歌山支社エリアのご利用状況～輸送密度～



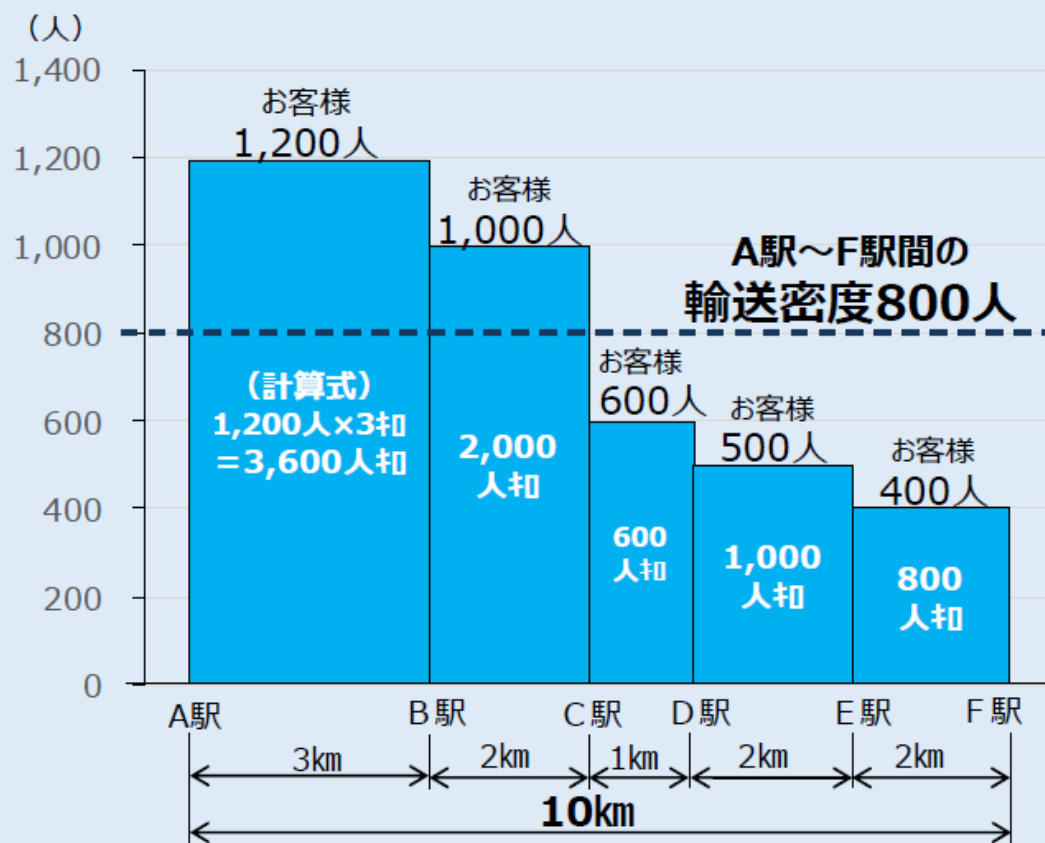
白浜以北の2013年以降の減少率は23.6%の一方、
白浜以南の減少率は36%と紀北エリアよりも急激に悪化している。

(年度)

'21-'23年度平均は収支率14.2%

○輸送効率の実績を示す指標、線区全体のお客様のご利用状況には、駅間ごとに凸凹があるのが一般的、この凸凹をならした、区間全体の1日1kmあたりの平均人員を「輸送密度（平均通過人員）」といいます。

(例) A駅～F駅の駅間別輸送人員（1日あたり）



線区合計
8,000人キロ

÷

10km

＝

輸送密度
800人

○各駅の1日あたりの特急列車乗車人員（目標値、進捗）

【単位：人/日】

	2026年度 数値目標 ※第9回合意事項	2023年度	2024年度 (全期間中の赤字は前年比減)			2025年度 (赤字は前年同月比減)			目標との差 (25年度予測)
			全期間	4月	5月	年度予測	4月	5月	
新宮	240	105	104	117	108	106	119	110	▲134
紀伊勝浦	450	185	213	255	214	248	293	254	▲202
太地	20	13	14	16	13	14	14	14	▲6
古座	30	13	11	12	13	11	13	13	▲19
串本	210	66	61	65	57	64	67	60	▲146
周参見	50	12	10	20	11	7	11	11	▲43
白浜	40	16	20	16	16	37	28	31	▲3
合計	1,040	410	433	501	432	487	545	493	▲553

地域公共交通再構築調査事業を活用した増便実証事業に合わせて、地元利用、出張・観光利用につながる取り組みの速やかな実施をお願いしたい

- 自治体：目的地の整備・PR（来訪者向けの取り組み）
地域住民の利用促進
- JR：増便等によるご利用機会増、観光客向けPR
（プラスワントリップに向けた取り組み、くろしお60周年）